

2024年度 後期授業アンケート集計報告書

1.アンケートの趣旨・目的

講義を受講した学生から率直な意見を集め、大学教育や学びの実態を把握し、授業の継続的な向上活動およびより良い教育環境の構築を目的として実施している。

2.概要

項目	大学	短期大学部	大学院
対象科目 (延べ科目数)	273科目	81科目	20科目
回答者/対象者 (延べ人数)	8505名 /14470名	2013名 /3040名	35名 /38名
回答率	58.8%	66.2%	92.1%
実施期間	2024年12月27日(金)～2025年1月29日(水) ※一部科目では実施時期が異なります		
実施方法	UNIPAによるWEBアンケート方式		

3.設問項目 (※一部科目では設問が異なります)

- Q1 あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標をどのくらい達成できましたか
【達成できた4点・まあまあ達成できた3点・あまり達成できなかった2点・全く達成できなかった1点】
- Q2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか
【意欲的に取り組めた4点・まあまあ取り組めた3点・あまり取り組めなかった2点・全く取り組めなかった1点】
- Q3 学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか
【とても感じた4点・まあまあ感じた3点・あまり感じなかった2点・全く感じなかった1点】
- Q4 この授業の内容や方法で特に良かった点、この授業を受けて有益であった点があれば記入してください
【自由記述】
- Q5 この授業をよりよくするための提案があれば記入してください
【自由記述】

4.結果の要約

前期に実施した授業アンケートよりも、全体の回答率が低くなった。今回、授業日程の都合上、年末年始の休暇をはさむ実施となったことが回答率低下を招いた要因のひとつと考えられる。今後実施時期を含め、回答率を上げられるよう検討を進める。

スコアについては、前期に実施した授業アンケートとあまり変わりのない結果であり、平均値から大きく離れる科目は少なく、平均値3.5前後という比較的肯定的な結果が得られた。

各設問を比較してみると、全体的にQ1の「学修到達目標をどのくらい達成できたか」という設問のスコアが若干低めで、Q3の「教員の熱意・意欲」のスコアが高めに出る傾向があった。今後、学修到達目標をどう学生に浸透させるかは課題のひとつであると考えられる。

その他自由記述からは、教材が充実していたこと、教員のサポートが手厚かったこと、実践的な内容が取り入れられていたことなどが肯定的な意見として挙げられていた。一方で、改善点としては、授業の進行スピードや授業環境に関するものなどが挙げられていた。今回も生成AIを使った集計を行ったが、あくまで傾向把握の参考資料であるため、詳細な意見については、UNIPAを通じて直接担当科目に寄せられた意見をご確認いただきたい。

2024年度後期授業アンケート
【短期大学部】

対象科目数	81
対象者(延べ人数)	3,040
回答者(延べ人数)	2,013
回答率	66.2%

【設問・選択肢】

設問	【平均値】		
	講義	演習	全体
Q1 あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標をどのくらい達成できましたか 【達成できた4点・まあまあ達成できた3点・あまり達成できなかった2点・全く達成できなかった1点】	3.53	3.54	3.53
Q2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか 【意欲的に取り組めた4点・まあまあ取り組めた3点・あまり取り組みなかった2点・全く取り組みなかった1点】	3.59	3.63	3.61
Q3 学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか 【とても感じた4点・まあまあ感じた3点・あまり感じなかった2点・全く感じなかった1点】	3.77	3.78	3.77
Q4 この授業の内容や方法で特に良かった点、この授業を受けて有益であった点があれば記入してください 【自由記述】	-	-	-
Q5 この授業をよりよくするための提案があれば記入してください 【自由記述】	-	-	-

※算術平均にて集計

【集計グラフ】 ※箱ひげ図は授業ごとの平均値で集計

